

## 巻頭言 診療科長就任のご挨拶 —受診されている皆様へ—

日々の診療や治療において、皆様の笑顔と信頼は私たち医療スタッフの大きな励みとなっています。本当にありがとうございます。

このたび、2024年4月1日付で昭和大学横浜市北部病院 内科系診療センター 内科の診療科長に就任いたしました伊藤英利と申します。

私は2002年4月より昭和大学横浜市北部病院内科に入職し、20年以上にわたり、内科学全般及び専門領域である腎臓内科学の研鑽を行ってまいりました。研究に関しては、入職当初より緒方浩頭 教授のご指導の下、腎臓疾患とその合併症に対する新規治療薬や、透析療法の器材開発の臨床試験へ参加しております。



〈内科〉

伊藤 英利 准教授

現在、内科には血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科の6分野における専門領域の医師が所属しております。開院直後は人員不足であった内科ですが、前任者の田口進 教授、衣笠えり子 教授、坂下暁子 教授らのリーダーシップの下で発展し、成長してきました。

当院内科の特徴は、このように多岐にわたる専門領域の医師が集まっていることであり、また、各医師が専門性を維持しながらも、全身を診察し、治療するという総合内科的なアプローチができる診療体制が整っていることが強みです。

そして、他の診療科を受診、入院した際に内科的疾患を合併していても、手術や化学療法などの高度な最新医療が受けられるよう、関連診療科・センターからの相談などに幅広く対応し、緊密な連携を取っております。

横浜市都筑区の平均年齢は40歳前半ですが、今後の高齢化を見据えると内科の重要性は増していくと考えられます。内科的疾患を抱えた患者さんの良き相談役として、地域の皆様、また、当院を支える基盤となれるように努力していく所存です。

当科は幸いにもスタッフに恵まれております。今後も、同僚やスタッフと共に協力し、より良い医療サービスの提供、医療技術の向上及び各専門領域の診療体制のさらなる充実に向けて努力して参ります。

内科一同、皆様の健康を第一に考え、地域社会に貢献し、最高の医療を提供するために努めてまいります。これからも、私たちに信頼を寄せただけければ幸いです。私も引き続き、先輩方の意志を受け継ぎ、尽力してまいります。

- P1. 【巻頭言】診療科長就任のご挨拶  
—受診されている皆様へ—
- P2~3. 【医学講座コーナー】食中毒  
【お知らせ】ダヴィンチ手術 300 症例突破
- P4. 【患者さんからのご意見・ご要望】・【編集後記】



# 【医学講座コーナー】食中毒

〈消化器センター(消化器内科) 講師 小川 悠史〉

これまで食中毒といえば「夏」というイメージが一般的でした。

過去の発生状況を見ても、梅雨などの高温多湿となる夏季にO-157などの病原性大腸菌やサルモネラ、カンピロバクター、黄色ブドウ球菌などの「細菌性による食中毒」が多く発生していました。ところが、最近では冬季にもノロウイルスなどのウイルス性の発生が増加しています。

食中毒の原因は細菌性、ウイルス性、自然毒(植物性・動物性)、化学物質性、寄生虫など様々ですが、中でも大多数を占めるのが「細菌」と「ウイルス」です。

今回はこれからの季節に多い「細菌性」についてお話しします。

## 細菌性食中毒について

細菌が原因となり引き起こされる食中毒で夏季に多く発生し、食中毒の70~90%を占めます。何に感染したかにより「感染型」と「毒素型」に分けられます。

### ①感染型

飲食により摂取した細菌が腸管内で増殖することで発症する、あるいは食べ物の中で細菌が増殖しその食べ物を食べたことにより発症する食中毒で、代表的な原因菌としてサルモネラ(卵や鶏肉などに付着)、カンピロバクター(鶏肉など)、腸炎ピブリオ(魚介類)などがあります。

### ②毒素型

毒素の中でも、「生体内毒素型」と呼ばれるものは、摂取された細菌が腸管内で増殖し、生み出された毒素が原因物質となり食中毒症状を起こします。O-157などの腸管出血性大腸菌など(牛レバー刺し、ハンバーグ、ローストビーフなど、様々な加工食品や食材)があります。

一方「食品内毒素型」は、食品内で細菌が増殖し、生み出された毒素が原因物質となり食中毒症状を起こします。感染型より潜伏期間が短いというのが特徴です。黄色ブドウ球菌(牛乳、ハム、握り飯、弁当など)などがあります。

## 症状について

下痢、発熱、腹痛、嘔吐などの胃腸炎症状がみられることが多いです。原因菌によって症状は様々であり、数日から二週間程度続くこともあります。

血便をきたすのはほとんどが細菌性腸炎で、腸管出血性大腸菌腸炎やカンピロバクター腸炎、サルモネラ腸炎が多いとされます。

下痢や嘔吐が長時間続くと水分やナトリウムやカリウムなどの体液を構成する重要な電解質が失われ脱水症状を引き起こし、重症化すると死亡することもあります。特に小児や高齢者の場合は脱水が進んで深刻な状態へ進行する場合があります。注意が必要です。

## 治療について

病状に応じて、整腸剤、制吐剤、抗菌薬、解熱剤などを服用しますが、細菌性食中毒には、抗菌薬の投与が有効です。一方で、ウイルス性食中毒には、有効な抗ウイルス薬がないので主に対症療法になります。一般に3~4日程度で症状は自然に改善します。

下痢に対して下痢止めを使うと、体内で増殖した細菌やウイルスが排出されず長期間腸内に留まることで症状が長期化し治療期間が短くならないとの報告が多い為、下痢止めの使用は極力控えましょう。

## 食中毒予防のポイント

食中毒というと、飲食店での食事が原因と思われがちですが、毎日食べている家庭の食事で発生しています。家庭での発生では症状が軽いことや、発症する人が1人や2人と少数なことが多く、食中毒とは気づかれず重症化することもあります。

家庭での食事作りでの食中毒予防のポイントをチェックし、ご家庭でも食中毒を出さないよう気を付けて過ごしましょう。

### ＜食中毒予防の3原則＞

- ▶細菌を食べ物に「付けない」
- ▶食べ物に付着した細菌を「増やさない」
- ▶食べ物や調理器具に付着した細菌を「やっつける」

(厚生労働省ホームページ内  
「食中毒」より引用)



## 【お知らせ】ダヴィンチ手術 300 症例突破



「ダヴィンチ」手術を行うスタッフ

2022 年度より導入致しました手術支援ロボット「ダヴィンチ」ですが、この度手術症例が、300 件を突破いたしました。これは、全国的にも早いペースでの突破となります。

当院では消化器外科や呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科、女性骨盤底センターにて実施しております。より高度で精密な治療を安全に行うためにスタッフ一同、あらゆる準備をして治療させていただきます。

引き続き、患者さんが安全で最適な治療を受けることができるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善等
入院前のPCR検査について。 新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたので、PCR検査はやめてください。 子供が病院嫌いになってしまうと、治療自体が進められなくなってしまいます。	ご意見ありがとうございます。 新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、感染力は依然として変わっておりません。無症状でも検査を実施したことで感染が判明(陽性)しております。 現在、感染者も増加しており、院内感染防止の観点からも現時点での入院前PCR検査の廃止は考えておりません。 今後も、感染症の流行状況に応じて検討してまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。 (回答部署：感染管理室)
中央棟の2階に自動販売機を設置してください。 付き添いで来て、患者と離れて1階の売店まで行くのは不安です。	ご意見ありがとうございます。 いただきましたご意見を受けまして、中央棟2階エスカレーター横(トイレ横)に、飲み物の自動販売機を設置しましたので、ご利用ください。 (回答部署：管理課)

## 編集後記

梅雨の季節になりましたが、皆様、体調はいかがお過ごしでしょうか？

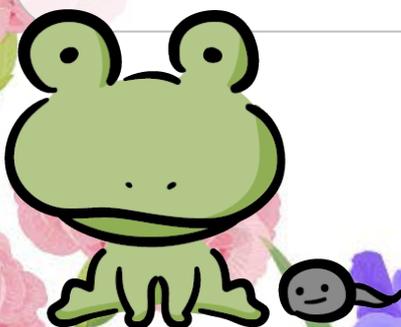
植物や私たちの生活には欠かせない恵みの雨の季節。しかし、梅雨になると体調が…と憂鬱な思いを抱えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

漢方の世界では過剰な湿気を“湿邪(しつじゃ)”と呼び、カラダに入り込み、体内の水分を必要以上に増やし悪影響を及ぼすと考えられています。余分な水分はカラダのあちこちに溜まりやすくなり(水滞)、むくみや頭痛、めまい、食欲不振など、さまざまな症状を引き起こす原因になると言われています。

水滞にはしっかりとケアが必要です。水の巡りをサポートし、カラダの外に出す働きを助ける食べ物を積極的に取り入れたり、漢方薬で水分代謝を整えて、溜め込まない巡りの良いカラダを目指しましょう！

雨の日を嫌がらずに楽しく過ごす工夫をしたいものですね。雨にも負けず、皆さまもまた1ヶ月お健やかに。

(薬剤部 磯崎 遥)



北部病院だより 第192号(2024年6月1日発行)

発行責任者 坂下 暁子(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。